

## 2020 年度 小委員会活動成果報告

(2021 年 2 月 16 日作成)

小委員会名	建築保全標準対象拡大検討小委員会		主 査 名：野口 貴文 就任年月：2020 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工委員会 (改修工事運営委員会)		委員長名：橘高 義典 主 査 名：本橋 健司
設 置 期 間	2020 年 4 月 ～ 2022 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>木造建築物および鉄骨造建築物について、保守・点検、調査・診断、補修設計、補修工事のあるべき方向性を検討し、維持・保全に関して今後制定すべき標準仕様書および規準のフレームワークを定める。</p> <p>初年度：鉄骨造 WG、木造 WG を設置し、それぞれの分野で関連する既往の研究、診断方法を整理する。2 つの WG も適宜合同で委員会を開催し、目次や分担の調整を行う。</p> <p>2 年度：2 つの WG で検討した結果に基づき、目次の精査を行い、執筆者リストを作成する。</p>		
委員構成 (委員名 (所属))	<p>委員公募の有無：無</p> <p>主査：野口貴文 (東京大学) 幹事：伊山潤 (東京大学) 委員：藤田香織 (東京大学)、青木謙治 (東京大学)、石山央樹 (大阪市立大学)、五十田博 (京都大学)、伊藤拓海 (東京理科大学)、鹿毛忠継 (建築研究所)、兼松学 (東京理科大学)、河端昌也 (横浜国立大学)、興石直幸 (早稲田大学)、近藤照夫 (ものづくり大学)、澤田樹一郎 (島根大学)、中島正夫 (関東学院大学)</p>		
設置 WG (WG 名：目的)	<p>鉄骨造 WG：既存鉄骨造建築物の構造部材を対象として、保守・点検、調査・診断、補修設計、補修工事に関わる標準仕様書および規準の制定を目指し、その制定の方向性・フレームワークについて検討する。</p> <p>木造 WG：既存木造建築物の構造部材を対象として、保守・点検、調査・診断、補修設計、補修工事に関わる標準仕様書および規準の制定を目指し、その制定の方向性・フレームワークについて検討する。</p>		
2020 年度予算	400,000 円	<p>ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：無</p>	

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回 (小委員会と 2 つの WG との合同会議、年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー 等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	COVID-19 の影響で、半年間休眠状態となっていたが、再開するに際して、鉄骨造・木造の保全標準の作成方法に関する議論を行ったうえで、住宅メーカーからのヒアリングを実施し、鉄骨造・木造の保全標準の方向性に関する議論を行ったが、半年間の休眠期間の影響を取り戻すには至らなかった。
委員会活動の問題点 ・課題	特になし。残り 2 年間は、「建築保全標準」改定のための検討に注力する。なお、改修工事運営委員会と委員構成が重複しているため、合同で活動した。